市民とまちづくりを41
市民参画協働ニュース
令和４年３月 31 日発行
編集：市民参画協働政策研究会
発行：自治振興室市民参画協働担当（内線２３４）

■「協働に関する職員研修」を実施しました！

２月１日（火）に、入所１年目の職員を対象に「市民参画協働研修会」を開催し、20 名の参加がありました。研修では、NPO 法人テダスの高橋博樹さんを講師に招き、NPO と NPO 法人の違いや、営利と非営利の違い、「協働」という言葉が出てきた背景、行政と民間の価値観の違い、人口減少の時代において、なぜ市民活動や協働が必要なのかを学びました。

講義後は、「まずは庁内での協働を進める」という観点から、今の部署で働くにあたり、今困っていることを書き出し、それについて５～６人組で解決策のアイデアを出し合うグループワークを行いました。各グループに協働ワーキングの先輩職員が参加し、活発な意見交換が行われました。

参加者のアンケートでは、「協働について考える機会になったか？」「協働についての知識や認識を得ることができたか？」との問いに、参加者全員が「はい」と答えました。「グループワークでは、自分やみんなの困りごとについて、自分一人では思いつかなかった様々な意見を聞くことができて、協働の良さを体感できました。」「協働とは何か、市民対市職員の枠を超えての認識を深められました。」などの感想が寄せられました。

この研修で学んだ内容や気づきを、ぜひ業務に活かしていただきたいと思います。

■「楽しい会議のやり方講座」を実施しました！

２月１７日（木）に協働ワーキング主催で、「楽しい会議のやり方講座」を開催し、協働ワーキング・事務局７名、その他職員７名、計１４名の参加がありました。

職員向け市民参画協働研修でもお世話になっている、NPO法人テダスの高橋博樹さんを講師にお招きし、前半は会議の種類とメンバー集め、発散と収束のプロセスを分けるなどの、具体的ないい会議のコツについて、分かりやすい説明をしていただきました。

後半では、講義で学んだことを活かし、3～4 人のグループに分かれ、「協働ワーキングの活動としてやってみたいこと」についてアイデア出しを行いました。

アイデアの発散をする際に、誰かが出した意見を否定せず、できるかできないかで考えずに自由に意見を出すことで、参加者全員が傷つかず、楽しい会議ができる事を実感しました。

様々なアイデアが出ましたが、職員同士のつながりを深めていくようなアイデアがたくさん出されていたのが印象的でした。

協働ワーキングではこのアイデアをもとに、来年度に向けて庁内の協働を促進するような取り組みを実施していきたいと考えています！

＊協働に対する疑問・提案・思いなどは、お気軽に下記までお寄せください。
メールアドレス： jichishinkou@city.nagaokakyo.lg.jp
ＴＥＬ：075-955-3164（内線：234）　ＦＡＸ：075-951-5410